このシネマがえいが

「ドリーム」

NASAの歴史的偉業を支えた3人の黒人女性のサクセスストーリー

2017年10月に日本で公開されたアメリカ映画。NASAの宇宙開発を支えた実在の黒人女性を描いた作品です。全米で大ヒットし、アカデミー賞作品賞、助演女優賞にノミネートされました。

舞台は60年代初頭、冷戦下のアメリカがソ連と熾烈な宇宙開発競争を繰り広げていた頃のお話。NASAのランゲレー研究所では、ロケット打ち上げに必要な「計算」をするため、数学の才能に秀でた黒人女性がたくさん働いていました。その中の3人、キャサリン、ドロシー、メアリーが主人公です。天才的な数学者のキャサリンは宇宙特別研究本部のメンバーに抜擢されますが、職場は白人男性ばかり、様々な嫌がらせを受けます。驚いたのは、このエピソード。キャサリンが働いている建物には「白人オンリー」と書かれたトイレだけ。膨大な計算業務を抱えたキャサリンは、毎日歩いて800メートル離れた黒人用トイレまで往復しなければなりません。3人は家庭生活の悩みも抱えながら、メアリーは白人専用だった高校への入学、ドロシーは計算チームのリーダーという夢に向かって真っすぐ進んでいきます。

厳しい人種差別と偏見がまかり通っていた時代、黒人女性であることでキャリアアップを阻まれながらも、決して諦めず、しなやかに闘い、自らの力で厚い壁を打ち破って時代を切り開いていきます。その姿が実にさわやかで感動的です。

原題は〝HIDDEN FIGURES〟（隠された数字）。「秘密裏に行われていた計算」と、このヒロインのような「歴史の陰に隠された人間」の二つの意味があります。

Culture Navi かるちゃーなび

作りませんか 給食の人気メニュー

じゃがいもと玉ねぎのオーブン焼き

岸和田市職労　山口　惠さん

協力：現業評議会・給食部会

シンプルだけどとってもおいしい！

材料（４人分）

■まぐろ油漬け（ツナフレーク）40g、じゃがいも200g、玉ねぎ60ｇ、パセリ少々
調味料：薄口しょうゆ小さじ１、塩0.4ｇ、こしょう0.04ｇ

作り方

①じゃがいもは0.5㎝のいちょう切り、玉ねぎはうす切り、パセリはみじん切りにする。
②①の野菜とツナフレーク、調味料を混ぜあわせる。
③フライパンに少量の水を入れ、ふたをして弱火で蒸し焼きにする。じゃがいもが柔らかくなったらできあがり。
※スチームオーブンがあればコンビモードで蒸し焼きに（200度で15分）。

新じゃがや新玉ねぎの時期には、さらにおいしくいただけます。

西日本豪雨災害
大阪自治労連
ボランティアレポート
8月18日～19日　倉敷市真備町

家財などの運びだしがすんだ家では、床下の泥出し作業をしました

被災者の「力になりたい」「役に立ちたい」と参加した仲間

被災者一人ひとりに合った援助を
――〝さらなる支援が必要と感じた〟

この間、西日本豪雨災害に対して、各単組で災害支援カンパが取り組まれており、大阪府職労や吹田市労連は単組としてボランティア支援行動を行っています。

大阪自治労連が呼びかけたボランティア支援には、9単組27人、本部3人の計31人が参加し、緑風観光バス労組の組合員が大型バスを運行しました。

真備町では全域の3割が浸水し、倉敷市真備支所も1階の天井部分まで水につかり、業務を全面的に再開したのは8月16日です。

各家庭の要望に応えた作業を

ほとんどの家屋が1階天井や2階まで浸水した下有井（おりい）地区へ入り、被災家族から聞き取った要望に応え、床下の泥出しや庭の砂利取り、水を吸って重くなった布団や家具を二階から降ろす作業などをしました。

参加者の感想

少しでも手助けができてよかった　多くの人が足を運ぶことが大切

多くのボランティアや他府県自治体からの災害派遣隊が被災地に入って復旧作業をされていますが、1か月半が経っても到底住める状態ではなく、人もお金も全然足りていないと感じました。

大阪自治労連は現在地震・豪雨災害への支援行動に取り組んでいます

①職場での災害救援カンパ
②ボランティア支援行動
（次回の詳細が決まり次第お知らせします）

心に響くこのひとこと

平和は微笑みから始まる
Peace begins with a smile
マザー・テレサ（1910年～1997年）

マザー・テレサはカトリック教会の修道女です。「神の愛の宣教者会」の創立者で、1979年にノーベル平和賞を受賞しました。世界中から尊敬を集めたマザー・テレサが残した言葉です。－あなたが微笑めば、その隣の人が微笑むようになる。その隣の人が微笑めば、そのまた隣の人が微笑むようになる。きっとこうして微笑みが広がった瞬間、平和が訪れます。だから、まず自分が微笑もう－戦争のための９条改憲ではなく、対話による平和外交に力を尽くさなければなりません。

今月の記念日

「世界翻訳の日」（国際翻訳デー）
９月30日

2017年５月の国連総会で採択されました。この決議は、国どうしを結び、平和と理解・発展をはぐくむうえで専門の翻訳者が果たす役割を重視するものです。草稿を執筆したA.ダブキウナス氏は、「大切なのは、機関や団体ではなく、まず何よりも人である。言語をなりわいとするひとりひとりの作業者、そして名もない功労者たちだ。文化と言語にいっそうの敬意を払えば、融和が広がり、文明と文化の橋渡しができるにもかかわらず、言葉が人間社会で果たす役割は過小評価されている」と語っています。